

第1回野洲市教育研究所運営協議会

6月23日(金)に野洲図書館で第1回野洲市教育研究所運営協議会を開催しました。

運営協議会委員として、小中各1名(校長代表・教頭代表含む)、市内PTA代表1名、市内各校運営協議会委員代表2名、園長代表2名、県総合教育センター代表1名の15名に委嘱状をお渡ししました。当日は、関係機関から担当者6名も参加し、計19名(欠席者2名)で、今年度の教育研究所の事業・基本方針を協議しました。以下に概略を示します。

2023(令和5)年度 研究所の事業・基本方針

A 教育研究所の事業について

1. 本研究所の目的

教育に関する調査研究及び教育関係職員の研修を行い、本市教育の振興に資することである。
(野洲市教育研究所条例第3条)

2. 教育研究所の6つの事業(野洲市教育研究所規則第2条)

- (1) 調査研究事業……………研究員によるテーマ研究
- (2) 資料収集事業……………書籍収集、教育研究所資料
- (3) 資料作成事業……………教育研究所だより、ホームページ
- (4) 研修及び研究助成事業……………教師力のスキルアップ授業研修等
- (5) 指導及び相談事業……………研修を含め随時支援
- (6) 教育委員会から指定された事業……………まなび野洲検定

2つの柱として整理・統括し、↓ 6つの内容を継続

- (1) 研修・研究助成 ……………教師力のスキルアップ授業研修等
- (2) 調査研究 ……………研究員によるテーマ研究等

野洲市教育研究所2023リーフレット (別紙)

B 野洲市の教育 「具体的な施策」より

【令和5年度 野洲市の教育方針】より

1. 令和4年度をふりかえって

(1) 学校・園

項目④教職員の資質向上

- ・いじめ対策委員より「楽しい授業の中に時として『いじり』が入ってはいないか」と指摘。『いじり』がいじめに発展してはいないか。今一度授業を見直す必要があると考えます。

2. 令和5年度の具体的な施策

- (1) 子どもの「生き抜く力」を育てます～学校教育を中心として～
項目⑤教育研究所は若手教職員の授業改善や学級集団づくりを個別に支援し、指導力と授業力の向上に努めます。



委嘱状の交付



協議

委員の皆様からは、働き方改革を考慮しながら、研修で教師力向上に努めてほしいとご意見をいただきました。

研究奨励事業の研究論文を執筆される先生方を含め園・校・機関から28名の受講がありました。

中堅研や園校内での指導に生かそうと5年目以外の先生方の参加もありました。積極的な活用ありがとうございました。

昨年度、大変わかりやすいと好評を博した県総合教育センターの加藤由紀主幹に今回も講師としてお越しいただき、指導を受けました。研究論文を書くにあたっての不安な心持ちから話を始めていただいたので、受講者の皆さんも最初から話に集中されていました。またペアでの話し合いを随時入れたり、研究をどう進めていけばよいのか研修シートに記入する演習形式の時間があったりしたので、先生方も不安な気持ちが収まり、意見を整理することができたようです。



研究の進め方

1. 状況把握…課題をあぶりだし、状況をチェック(アンケート・調査等)
2. 主題設定…設定理由(価値あるものか)
子どもの実態から・過去の研究から・教科等の目標や方向性から etc.
3. 研究目標…研究を何に役立てようとしているのかを明らかに
目的、内容、方法を盛り込む
4. 研究仮説…手立て「こうすれば」→目指す姿「こうなる」目的を筋道立てて書く
検証方法…質問紙法、観察法、テスト、ノート等(事前と事後)
考察…手立ての有効性の判断とその根拠を子どもの姿から述べる
5. 成果と課題…研究の内容
教師の働きかけと子どもの反応、指導の工夫を書く
事前・事後の比較に子どもの写真、感想、ワークシート、意識調査 etc.
研究の成果と課題
新しい知見は何か(明らかになったことは?)
今後の研究に求められること・期待したいこと

終了後の感想には以下のような意見をいただきました。

- ・ 主題・副題、目標、仮説を整理することで授業改善につなげることができると思いました。生徒に還元していきたい。
- ・ 基礎から論文の書き方を学ぶことができ、主題・副題を早々に定めて進めていきたいと思えます。
- ・ 状況把握をしっかりして研究論文を進めていきます。
- ・ 主題・副題にあった事前アンケートを検討し、データをとっていきたいと思えます。
- ・ 論文執筆で、実践の振り返りができ、子どもの関わり方や授業改善のヒントが分かると思えます。
- ・ 研究デザインシートを作成することで、具体的な研究手順のイメージが持てました。
- ・ 保育の質を高めるために研究の進め方、目標について整理することができました。
- ・ 話しながら考えていく研修であったので、何が大切かととてもよく分かりました。
- ・ 演習問題があり、自分の記述での課題が分かりました。
- ・ 校内研究や資料作成など生かせるヒントが多々ありました。

など、多くの前向きな意見をいただきました。

県総合教育センターの加藤主幹、本当にありがとうございました。